

カキのわい性台木に利用できるカキ新品種

ほうらくだい 「豊楽台」

一般に、カキの台木は共台（ヤマガキ実生台など）を利用していますが、樹高が高くなりやすいため、高所作業が多くなり、作業性や安全性に問題があります。また共台の樹冠は果実を生産しない無効空間も多く、生産効率が低くなります。このため、カキの低樹高栽培法として、果実生産性の高いわい性台木の開発が望まれています。そこで農研機構果樹茶業研究部門ではわい化効果があり、高生産性で省力栽培が期待できるカキのわい性台木品種「豊楽台」を育成したのでその特性の概要を紹介します。

☆ 技術の概要

1. 「豊楽台」台の「富有」樹は、共台の「富有」樹（「アオガキ」実生台木）と比較して、樹高、樹冠容積および穂木の主幹断面積は有意に小さくなります（図1、表1）。



図1 「豊楽台」台木による「富有」樹のわい化状況（10年生、左：共台樹、右：「豊楽台」台樹）
*表示棒の高さは2m。

2. 「豊楽台」台の「富有」樹の果実品質（果実重、糖度、着色及び果肉硬度）

は、共台の「富有」と有意な差はありません。「豊楽台」利用樹の1樹当たりの累積収量は共台樹より少ないですが、「豊楽台」台木樹の樹冠容積当たりの収量は、共台樹のそれより1.7倍程度高くなります（表2）。

表1 「豊楽台」台「富有」樹の樹体生育に及ぼす影響（2015年）

| 台木 | 樹高 (m) | 樹冠面積 (m ²) | 樹冠容積 (m ³) | 主幹断面積 (cm ²) | | 穂木/台木 断面積比 (b/a) |
|-------------------|-----------|---------------------------|---------------------------|--------------------------|-------|------------------------|
| | | | | 台木(a) | 穂木(b) | |
| 豊楽台 | 2.8 | 5.4 | 4.7 | 69.0 | 32.8 | 0.48 |
| 共台(対照) | 3.7 | 9.6 | 10.7 | 123.5 | 89.9 | 0.73 |
| 有意性 ¹⁾ | ** | NS | ** | NS | ** | ** |

¹⁾ **はt検定によって1%水準で有意差あり、NSは有意差なし (n = 4)。

3. 「豊楽台」は、6月中下旬に採取した新梢あるいは不定芽由来の徒長枝を挿し木に利用することで繁殖できます。

表2 「豊楽台」台「富有」樹の果実品質および生産効率への影響（2011-2015年）

| 台木 | 果実重 (g) | 果皮色 (カラー チャート) | 糖度 (° Brix) | 果肉 硬度 (kg) | 累積収量 (kg / 樹) | 樹冠容積 当たりの収量 ²⁾ (kg / m ³) |
|-------------------|------------|----------------------|----------------|------------------|------------------|--|
| 豊楽台 | 309 | 6.2 | 15.9 | 1.7 | 70.0 | 4.8 |
| 共台(対照) | 322 | 5.8 | 17.1 | 1.7 | 92.5 | 2.8 |
| 有意性 ³⁾ | NS | NS | NS | NS | ** | ** |

²⁾ 生産効率は2015年の測定値。

³⁾ **はt検定によって1%水準で有意差あり、NSは有意差なし。

活用面での留意点

1. 本品種の普及により、全国のカキ産地での高生産、省力栽培が期待できます。
2. 「豊楽台」台木の「富有」は、共台樹と比べて累積収量がやや劣るため、共台樹と同程度の累積収量にするためには、1.3倍程度の密植栽培が必要です。
3. 詳細は農研機構問い合わせフォーム

(<https://www.naro.affrc.go.jp/inquiry/index.html>) にお問い合わせください。

(農研機構 知的財産部 薬師寺 博)